

様式 F-7-1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成23年度）

1. 機関番号 

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

      2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(C)      4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度
5. 課題番号 

2	3	5	2	0	1	8	0
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題 呉昌碩と日本人士

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 2 2 9 5 3 2	マツムラ シゲキ 松村 茂樹	文学部	教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

## 9. 研究実績の概要

本研究は、中国清末民初、詩・書・画・印四絶を誇り、「中国最後の文人」と称された呉昌碩と当時の日本人士の芸術文化交流の実態を明らかにすることを目的とする。よって、呉昌碩と日本人士がやりとりした詩文等および当該日本人士に関する資料収集が重要となる。資料収集のため、図書館・博物館等での研究調査を行った。

今年度は、主に、資料購入（呉昌碩と日本人士関連図書）と資料収集のための研究調査（①長崎県長崎市、②滋賀県長浜市、③京都府京都市、④兵庫県宝塚市）を行った。①～④の研究調査先は以下の通り。

①長崎県立長崎図書館、長崎歴史文化博物館、長崎歴史文化協会、迎陽亭跡等②長浜市立図書館、長浜市長浜城歴史博物館、曳山博物館、慶雲館等③京都国立博物館④鉄斎美術館

これに加え、国立国会図書館等の在京図書館、資料館等での資料検索を進めた。ただし、図書館や資料館等に蔵されていない資料も多く、「日本の古本屋」等のサイト検索を行う他、地道に古書店を巡り、古書目録にあることにより、有用な参考図書を購入することができた。古書店巡りは、上記地方研究調査の際も、積極的に行った。

その成果を、松村茂樹「呉昌碩書画の長崎における受容について」（『大妻女子大学紀要一文系一』第44号・2012、3、20・大妻女子大学）および松村茂樹「日本における呉昌碩の受容—大正・昭和編（四）」（『中国近現代文化研究』第13号・2012、3、31・中国近現代文化研究会）にまとめた。